

令和 4 年度 青年部活動報告書（令和5年1月 ～令和5 年3月）

全青会理事提出日 第4回 令和5年3月24日

ブロック名： 東北ブロック
 報告日： 2023年3月24日
 報告者： 轟田安一

※書ききれない場合は行を挿入して記載してください。

1. 都道府県青年部の活動報告		
都道府県名	月 日	活 動 報 告
青森県	2月10日	青年部幹事会、積算業務委員会、青年部との合同新年会
岩手県	1月24日	令和4年度第三回役員会
	3月16日	工場見学会
秋田県	1月12日	安全祈願及び新年会
	4月13日	役員会（総会に向けたR4年度事業報告及びR5年度事業計画立案）
宮城県	1月25日	工場見学会（吉田産業北上鉄鋼センター）・新年会
山形県	1月31日	役員会
	2月24日	賛助会員交流会(新年会)
福島県	3月16日	第7回役員会

2. 近況報告・市況等	
都道府県名	内 容
青森県	稼働率→Hグレード106%、Mグレード98%、Rグレード87% 手持ち工事量（ヵ月）→Hグレード5～24、Mグレード3～10、Rグレード1～6
岩手県	県内は見積件数も少ない状況また大型案件と中小案件の乖離が大きい 仕事量はないものの県内ファブは仕事をシェアすることで直近の稼働率はグレード 問わず高い。県内は北上市を中心に今後も大型案件は続く模様 電気料金の問題や運送費の問題に加え人材確保も今後の大きな課題になってくる だろう。
秋田県	会員各社の状況として現状稼働率は高い状況にあるが、凶面承認の遅れ、付帯 工事が決まらない。更には鋼材一次加工が混み納期がかかる状況。 相変わらずの人手不足に電力の更なる値上げ。それに伴い様々な値上げがある中での 賃上げを考えなければならず、非常に厳しい業界になっていると感じる。 又、中小案件の見積件数は少なく各社により手持ち工事量の幅が大きくなっている 2024年物流問題に対して運搬費高騰があるため不安を感じている。
宮城県	S・Hグレードは、多少のばらつきはあるものの山積みは約1年くらい。 稼働率は、80～100%。 Mグレード以下は、物件がなかなか出ていない事もあり山積みは 約1～3ヶ月。稼働率も60～100%。 昨年より厳しいのではという話も多々聞こえている。 下期以降 関東は忙しいそうだが、価格の面でなかなか難しそう。
山形県	各物件凶面承認等が遅く、稼働の足枷並びに材料の停滞が工場を圧迫している。 工場稼働に間に合う調達時間は確保出来ている為、調達難の問題は無い。

	引き合い件数は減少傾向。(例年比)
	徐々に上がってきているが、消耗品、光熱費、外注費を満たすまでとはなっていない。契約金額はまずまずでも、追加工事は厳しい。
	山積み：3～6ヶ月程度(Mグレード)
	受注単価約¥85,000前後
福島県	平均稼働率95%くらいですが、年度末に向けて各社忙しくなる見通し。
	受注価格も普通からやや不満であると二割ほど上げたい意見がある。
	鋼材入手も特殊なもの以外は普通に入手可能。
	見積りは5割以上が少ない様子。
	山積みは各社さらにばらつきが多くなってきている模様。
	Mグレード以下は1～3か月が過半数。Hグレードは手持ち量が多い様子。

3. ブロックの活動報告	
月 日	内 容
1月18日	役員会
3月11日	鉄骨建物の設計施工問題意見交換会（構造設計者との交流）

4. 構造設計者との交流活動の状況報告（各府県で実績があれば記入願います。）	
月 日	内 容

5. その他、府県の青年部への協力依頼（仕事・青年部）困った事・全青会への依頼・相談事	
都道府県名	内 容
山形県	山形県内の組合FABの山積み(空き状況)一覧・加工協力のやりとり、といった情報共有を進めるべく、システム導入を検討中。